

日時： 2009年11月9日 18:30～21:00

場所： ハートピア京都・第4会議室

- 議題： 1. 第1回定例会議(10月24日)の振り返り
2. 第2期議題のチーム決定について
3. 第2期議題チームへの運営事務局のフォロー体制について
4. 第2回定例会議のプログラム案について
5. 交通費の支給について
6. 運営サポーター創設について
7. その他

参加者： 幹事 / 平井、宗田、美濃部、[新妻]、中園、[丹羽]、船戸 [リーダー兼務]
リーダー / 長澤、白井、吉見、若村 代理 / 萩原(侍)、森本(景観)、石盛(ニコワ)
チームメンバー出席者 / 坂田・木村(侍)、野村(城)、西(福祉)、堀田・田中(きわみ)、
深田(みつばち)、大西・亀田(外国)
事務局 / 嘉村、山口、立花、片桐、西尾、飯田、絹川、小林、奥園、松葉、保田
<計 23 人 + 事務局 11 人 / 敬称略・順不同>

議事概要 (▽印は議事の説明、・印は出された意見)

1. 第1回定例会議(10月24日)の振り返り

▽事務局より、アンケート集計結果に基づきその傾向の紹介と、定例会議で出された懸案事項への回答を説明し、以下の議論に移った。

第1期の報告書の扱いについて

- ・成果報告書を京都市はどのように受け止め、どのようなアクションを起こすのか。
- ・市長が受け取り、すべての局・区に配布している。内容は多岐に渡るので、担当事務局が要望の声を吸い上げ、市の担当課とのセッティングを行う。単に、報告書を受け取って可否を判断するのではなく、まずは、報告書の内容について、担当課が話を聞かせていただくのが筋だと考えている。(市の説明)
- ・単に要求団体と思われてはマイナス。まずこちらから話していけばいい。市の基本計画策定の中においても成果報告書を参考資料として活用していただいております。我々としてはいろいろな所に成果を持ち込んでいくのが100人委員会らしくてよいのではと考えよう。

情報共有について

▽「リーダー幹事会」の議事録公開方法について、今後は提案された方法で行うことを確認。

▽次回定例会議概要の事前告知も事務局通信等を通じて、確実にを行うことを確認。

▽定例会議では冒頭にく全体集会>を持ち、懸案事項の回答及びリーダー幹事会の決定事項を伝える場を設けることが提案され、承認された。

2. 第2期議題のチーム決定について

▽事務局より報告の後、意見を聴取した。

- ・委員は一人一人委嘱されており、その活動は制限すべきでなく、チーム内委員数制限に根拠もなく、また、委員の複数チーム所属(重任)も認めるべきだ。

- ・しがらみでチーム移動ができなくなって、委員会自体が縦割りになっているのでは。自由に動ける形、またくミツバチ>を考えてはどうか。
- ・各チームは、100人委員会を背負っており、一定の参加委員数の基準は必要。
- ・1期には4人以上をチームとする整理をした。そのルールを続ける考えもある。
- ・委員が委員の少人数の議題を削除するのは忍びないが、（少人数チームの委員は）一旦どこかに所属してもらおう形がよいのでは。

▽議論の後、事務局提案の（一定数の登録のある）12議題を第2期の議題チームとすることとし、継続の希望のあった「京都の無駄を斬る」については、第1期から継続の4人全員以上が参加する場合のみ特例としてチームと認めることが決定された。

▽「おもてなし」チームから、「外国人のうれしい街」チームへ融合の誘いがあったが、「外国人のうれしい街」チームは当面、連携関係は持ちつつ、独自で活動する事を表明。

議論の途中で出た意見

- ・現議題では市民の関心事とマッチしていない。市民全体に近づく意識を持つべきでは。
- ・委員会の中に見えない事が多すぎる。委員がどのように関わるべきかわからない。
- ・可視化するために、幹事やリーダーを作り組織化してきたが、現状ではリーダーにそこまでの責任は求められない。
- ・委員会としてのロードマップやチームの目的が見えないことが問題である。
- ・可視化については、こうした話をリーダー幹事会の場を活用してもっとやっていくべき。

3. 第2期議題チームへの運営事務局のフォロー体制について

▽事務局からの説明ののち、事務局の改善方針を理解し、次回以降検討することになった。

4. 第2回定例会議のプログラム案について

▽事務局からの説明ののち、<冒頭の全体会議>を創設し、そこで重要検討項目の回答及び、リーダー幹事会の報告等を行い、全委員への決定事項の周知を行うことが決まった。

▽事務局提案の<終了時の全体会議>での、共有プログラムは、ワールドカフェに否定的な意見も一定あることに留意し、事務局において検討することとした。

5. 交通費の支給について

▽交通費支給についての市の現状での考え方の説明ののち、委員の意見を聞き、現行の支給額・支給方法がおおむね過半を超える支持があることを確認した。

6. 運営サポーター創設について

▽事務局からの説明ののち、前向きに了承し、事務局にはより詳細な提案を求め、次回幹事会の議題とすることに決定した。

7. その他

▽次回「リーダー・幹事会議」日程：12月9日（水）で決定 18:30～ 会場未定

▽代表幹事より、11月28日の「第2回定例会議」終了後に幹事会の開催することが通知された。